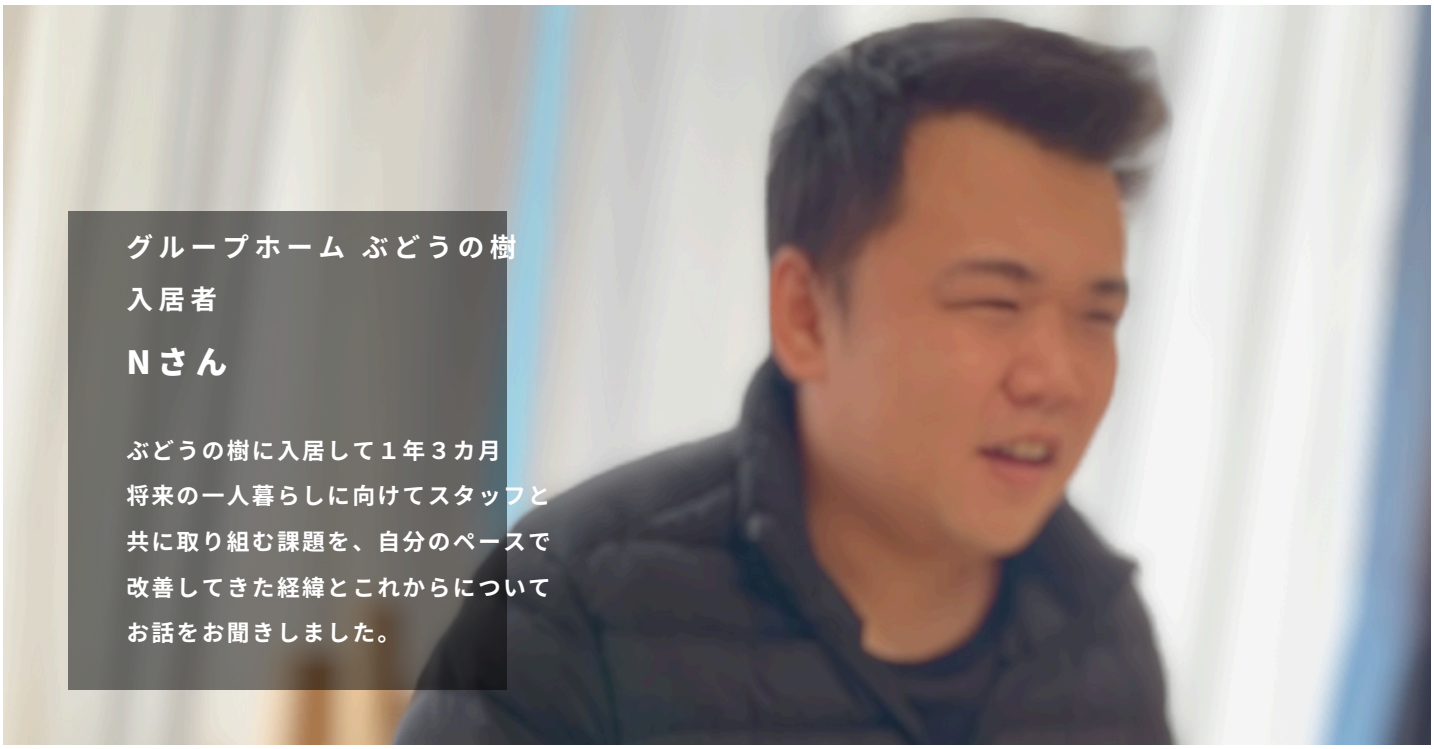
INTERVIEW インタビュー

KIJUYA GROUP
BY
BUDOUNOKI



グループホーム ぶどうの樹
入居者
Nさん

ぶどうの樹に入居して１年３カ月
将来の一人暮らしに向けてスタッフと
共に取り組む課題を、自分のペースで
改善してきた経緯とこれからについて
お話をお聞きしました。

統合失調症と向き合い、相談できる人に支えられ

☆**スタッフ**　Nさんはぶどうの樹に来てどれくらいになりますか？

★**Nさん**　１年と３カ月になります。

☆**スタッフ**　改めてお話をお聞かせいただきます。抱えている障がいとどのように向き合っていますか？

★**Nさん**　統合失調症という疾患で、幻聴と被害妄想があります。そんなに簡単に治る病気ではないので、時間をかけてゆっくり治していっています。ぶどうの樹では、話を聞いてもらったり、助言をもらったり、スタッフさんには何でも相談できています。

☆**スタッフ**　ありがとうございます。ぶどうの樹をどのような目的で利用されていますか？きっかけなど

★**Nさん**　最初は親に見放されたのかと思いました。でも、ぶどうの樹でスタッフさんが自立に向けて支援してくれることでだんだんと認識が変わっていきました。

インタビュー事業所

福岡市南区柳河内にあるグループホーム
「果樹の家/南」ぶどうの樹！
2021年開設、３棟６ユニットの定員30名
で男女別住居の24時間365日支援体制の
ある介護サービス包括型の共同生活援助

果樹の家/南　ぶどうの樹

自立に向けた伴走の支援と信頼関係が成長の鍵

☆**スタッフ**　ぶどうの樹で成長できたこと、改善されたことはありますか？

★**Hさん**　スタッフさん皆が温かいので信頼できる存在が増えたことですかね。これまではあまり話を聞いてもらえなかったので、信頼できる存在はやはり大きいです。他に改善されたことは、タバコの本数を減らせたことです。あと、お金も改善されています。
最初は1日2箱でしたが、入退院をした後にタバコのデメリットを教えてもらい、増やしたり減らしたりしていましたが、スタッフさんに協力してもらい、今は1日10.本でちょうどよくなりました。

☆**スタッフ**　グループホームでの生活や活動を通して嬉しかったことやポジティブな変化はありましたか？

★**Hさん**　人間関係が気にならなくなった。前は神経質すぎてイライラしたりもあったけど自分の問題と気づくことができました。

☆**スタッフ**　今後の自分の希望や未来について教えてください。

★**Hさん**　やっぱり一人暮らしを目指すことです。できればお金も稼げるようになりたいです。
まずは心の安定を大切にしたいです。これからもスタッフさんに支援してもらえると助かります。